

—関連施設だより—

足利赤十字病院のご紹介

室久 俊光

日本赤十字社栃木県支部足利赤十字病院

Introduction of Japanese Red Cross Ashikaga Hospital

Toshimitsu Murohisa

Japanese Red Cross Ashikaga Hospital

足利赤十字病院は1949年（昭和24年）7月1日に8診療科、23床、職員30名で創立され、わずか25年で614床の病院に成長しました。しかし平成中期には旧病院は山裾の狭隘な土地に増築を重ねた結果新旧の建物が密集し非効率的であると同時に老朽化も進むなど多くの課題を抱えていました。そこで山裾から2.5 km離れた渡良瀬川畔へ新病院建築による全面移転が平成23年7月1日に行われ現在の姿となっています。当院の建築の特徴は一般病床全室個室、エネルギー使用を半減させた次世代型グリーンホスピタルなどがあり特に前者はブランド病院を除けば本邦初の試みでした。

現在の病床数は緩和ケア19床と回復期リハビリテーション50床をふくむ一般病床500床と精神科40床の計540床であり診療科目は内科、外科、小児科、産婦人科、救急診療科など28科、職員は医師136名を含め1,194名となっています。

当院は栃木県西南の足利市にあり佐野市とともに栃木県二次医療圏である安足医療圏の、さらに広域では栃木県の2市に加えて群馬県桐生市、みどり市、太田市、邑楽郡、館林市を含む両毛地域6市5町80万人の急性期中核病院であり栃木県の三次救急指定病院です。当院の立地する足利市には日本最古の学校である足利学校や足利氏の館であった鑊阿寺、日本夜景遺産に認定された織り姫神社そして冬はイルミネーション、春は大藤が楽しめる足利フラワーパークなどの見所があります。

当院と日本医科大学との繋がりは深く、特に救命救急センターの運営は日本医科大学の先生方抜きでは成り立ちません。現在は救急センター長として日本医科大学より菊池広子部長が赴任され救急患者の受け入れのみならず研



足利赤十字病院の外観（病棟側）



救命救急センター

連絡先：室久俊光 〒326-0843 栃木県足利市五十部町 284-1 足利赤十字病院

URL： <https://www.ashikaga.jrc.or.jp/>E-mail： t.murohisa@ashikaga.jrc.or.jpJournal Website (<https://www.nms.ac.jp/sh/jmanms/>)

修医教育, 近隣自治体の消防士教育, 栃木県 DMAT など多くの業務を担って頂いております。菊池先生の努力の結果, 2021 年度救急車等搬送患者数は 5,043 名, 救急センター取り扱い患者数は 13,797 人と年々増加し, 当院の目指す断らない救急を実践して頂いた結果応需率は 97.1% と非常に高くなっています。

当院は先端医療にも力を入れており, 手術ロボット da Vinci やハイブリッド手術室はじめ, 最近では精密な放射線治療機器であるサイバーナイフを導入しました。今後も地域住民に対して適切な医療を提供できる体制と医師にとって働きがいのある病院の構築に尽力したいと考えています。

当院は今後も日本医科大学との連携を通して栃木県両毛地域の基幹病院, 三次救急病院としての責務を担って参りたいと考えておりますので引き続きのご支援をよろしくお願い致します。

(受付: 2023 年 3 月 1 日)